

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	児童養育支援活動事業			事業コード	0468
担当課等	所属名	保健福祉部 児童福祉課		担当係名	
	課長名	石塚 千英司	担当者名	坂田 純一	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	育児不安の軽減	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 2項 1目 児童養育支援活動事業 (004-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成14年度～)		
事務事業の概要	児童虐待等に関係する機関等の連携を図り、虐待の未然防止及び早期発見に努める。					
根拠法令等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成14年度児童虐待の未然防止、早期発見のため、盛岡市児童虐待防止連絡会を開催し、また平成18年度には児童虐待を含む要保護児童の適切な保護のため、各関係機関の情報交換、支援内容の協議を行う盛岡市要保護対策地域協議会を設置した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
全国的に児童虐待の関心は高まっている。盛岡市においても市民に対してもっと活動をPRし、虐待通告義務を周知させるべきとの意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成16年の児童福祉法の一部改正により、虐待相談、通告の窓口が第一義的に市町村となったことに伴い、平成18年度に盛岡市要保護児童対策地域協議会を設置し、関係機関との連携をより一層緊密にし、虐待を含めた要保護児童対策に努めていく必要がある。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	18歳以下の児童	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 18歳以下の児童数	単位	人
				B. 学校幼稚園保育園の数	単位	箇所
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 虐待の未然防止と早期発見のため、関係機関の協力を得て盛岡市要保護児童対策地域協議会会議を開催し、情報の交換共有を図った。また、ケース検討会議を開催し、個別ケースについて関係者間の情報共有、具体的な援助方針の検討を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 盛岡市要保護児童対策地域協議会会議の回数	単位	回
				B. ケース検討会議の開催回数	単位	回
				C. 虐待の実相談件数	単位	件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	虐待の未然防止及び早期発見に努め、児童の健全な育成を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 虐待実数における各会議開催割合 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	子育てに悩まない	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どもいる親の割合(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	18歳以下の児童数	人	49,085	48,424	49,000	48,041	49,000	49,000	26年度 49,000
対象 指標B	学校幼稚園保育園の数	箇所	192	193	192	193	193	193	26年度 193
対象 指標C									年度
活動 指標A	盛岡市要保護児童対策地域協議会会議の回数	回	5	5	5	4	5	5	26年度 5
活動 指標B	ケース検討会議の開催回数	回	15	24	22	20	23	24	26年度 26
活動 指標C	虐待の実相談件数	件	125	157	135	174	140	145	26年度 155
成果 指標A	虐待実件数における各会議開催割合	%	16.0	18.5	20.0	13.8	20.0	20.0	20年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	130	123	252	130	252	252	*****
財源 内訳	④国	千円	39	131	39	22	22	22	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	91	-8	213	108	230	230	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	130	123	252	130	252	252	*****
	延べ業務時間数	時間	105	125	125	105	125	125	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	420	500	500	420	500	500	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	550	623	752	550	752	752	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 事業を行うことにより関係者の連携が図られ、要保護児童、特に児童虐待防止と早期発見、早期対応につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: H18年度に設置した盛岡市要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関の円滑な連携・協力により成果向上が期待できる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 児童虐待防止等の対策には、関係機関の連携が不可欠であり、この事業の廃止又は休止が連携に及ぼす影響は大きい。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 岩手県福祉総合相談センターの情報交換会、盛岡地方振興局の要保護児童ケース検討会などの虐待防止に関する事業。  ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない  その内容: 児童福祉法の一部改正により都道府県と市町村の役割が明確に規定され、それぞれが連携を図りながら虐待防止に取り組むこととされている。よって、これまで以上に連携を強化することにより、成果の向上は期待できる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 会議開催に係る必要最小限の事業費であることから、削減の余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 会議等に係る人件費であることから、現状において削減の余地はない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: この事業には、受益者負担はなじまない。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: この事業には、受益者負担はなじまない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  平成18年度に要保護児童対策地域協議会を設立し、児童虐待を含む要保護児童対策について、関係機関との連携をこれまで以上に緊密なものとする。また、時間的に限られた会議を有意義なものにするため、代表者会議・実務者会議それぞれの役割等について見直しを行い、今以上に意義のある協議会として行く。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  要保護児童対策地域協議会にて全ケースの進行状況を報告することになっているが、報告件数の増加により時間的制約が生じている。このためもう一つの主たる協議事項である困難ケースについての検討が十分行われない。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>盛岡市要保護児童対策地域協議会は、代表者会議、実務者会議及びケース検討会議の三層の構造となっているが、本協議会がさらに効果的に機能することや各関係機関との連携をより密にし、児童の養育支援を図っていく必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>盛岡市要保護児童対策地域協議会について、実務者会議における効果的な協議のあり方について引き続き検討する必要がある。</p>														